

# 昭和54年度 和歌山県名匠

## 【らんま<sup>せい</sup>製作<sup>さく</sup>】 雑<sup>さい</sup>賀<sup>か</sup>彰<sup>あきら</sup>

【現住所】和歌山市  
【生 年】明治41年

### 職 歴

先代は木材商であったが、らんまに魅せられ、昭和2年頃から独学で図案及び彫りの技術を修得し、独特のらんまを製作し続けている。

### 業績の概要

らんまの製作にあたっては、図案の作成は彫りの技術とともに、大変重要な要素であるが、若い頃から絵を描くのが得意であった氏は、これを生かせるらんま製作に情熱を傾けるようになり、独学で全国をくまなく歩き、関西流と関東流の相違、図案、彫り等の研究を行い、氏独自のらんまの世界を築きあげた。

自ら写生した図案を用い、力作には「波に雁」「和歌山城」などがある。

このように、氏は常に時代に即応した感覚で図案の作成を行うほか、生活様式に見合うものとして縦型のらんまや衝立などの製作にも積極的に取り組んでいる。

1957年にはアメリカのトレードウエア展に出品、特別賞を受賞している。